

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	しんさかした保育園
施設所在地	日野市新町3丁目17番4号
自治体名	日野市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

テーマ①：運動遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

しんさかした保育園は、園庭があり自然もある環境に恵まれた中、子どもたちの心と体の成長を育てている。そのため、その環境を活かし、様々な運動用具を用いて子どもたちが自分の体の使い方を探究することで、できなかったことが「できた」ことへの自信になり、体を動かすことの興味関心につながるため。

2. 活動スケジュール

令和7年12月から、3月に、不定期実施

0歳児クラスは、ほふく室などに体育遊具をセットして、山登りなどの遊びを実施

1歳児クラスから5歳児クラスは、ホールに年齢ごとの活動のねらいに合わせた遊具セットを設置し、活動を実施した。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・「自分でやりたい」「挑戦したい」という気持ちを大切に、運動遊びが自由に発展できるようにホールなどの広い部屋を使用し、クラス毎の運動能力に合わせて保育士が全身を使って遊べる平均台やブロックなどのバランス遊具を準備した。

・準備した遊具は、転倒時にも怪我をしにくい素材や滑り止め付きのものを選び、周囲にはマットなどを敷いて安全を確保した。活動中は保育者がそばで見守り、必要に応じて手を貸しながら、子どもたちの安全に十分配慮した。

・同じ遊具のセットでも発達の違いが見られるよう、年齢ごとに実施したり、年上の子どもの姿を見ながら遊べるようにしたりするなど、環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・システムブロックは、山や谷、階段、一本橋などさまざまな形をしており、子どもたちはサーキットのように並べられたブロックに順番に挑戦する。
- ・遊び方では、保育者や年長児の遊んでいる様子を見ながらバランスを身体でとり、乗り越えたり渡ったり、トンネルくぐりや、滑り台などを自分で考え、いろいろな進み方を試しながら進んでいった。丸太への飛び移りは、どうやったら飛び移れるかを体で考えながら移れるような声掛けなど、言葉でのアドバイスを伝えていくことで、「できた」「たのしい」などの達成感から、次への挑戦する意欲へとつなげていくことができた。
- ・0歳児クラスは、ほふく室の安全な場所で、手足を使って、山登りや、滑り台を楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

システムブロックの遊び場を見て、「楽しそう」「やってみたい」と期待に満ちた表情を浮かべ、友だちと顔を見合わせて嬉しそうに喜ぶ姿があった。活動前には、安全に遊べるように約束を話してから実施していった。活動が始まると、自信を持ってどんどん進んでいく子、慎重にゆっくり進む子、やりたくないと主張する子など、さまざまな姿をみせた。最初は保育者の手を借りていた子も、保育者に励まされたり「上手だね」と声かけるとことで自信を持ち、少しずつ一人で進むことができるようになっていった。やり渋りを見せていた子も、友達の様子を見ることで、「やってみよう」「でいるかも」と挑戦し始めた。丸太渡りでは、「立ったままだと怖いけど、しゃがむと怖くないよ」のアドバイスで、「先生怖くなかった」と「やってみたらできた」思いを感じ、友達と共有する姿も見られた。どの年齢の子も、自分の体の動きやバランスのとり方を工夫しながら、繰り返して遊ぶことで、新しい遊び方を楽しむ姿も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

一つ目は「運動遊び」をテーマに取り組みました。子ども達の遊びを通して感じた発見が、「わくわくからきらきらに輝き、さらにすくすくと成長へ」と繋がった活動となりました。子ども達の「やってみよう」「できたよ」「たのしい」の声など、できなかったことが出来るようになった喜び、心と身体全身で楽しめる活動こそ、子ども達の成長を促す基盤となりました。これからも楽しいと感じる保育を計画して子ども達の成長に繋がっていったら嬉しいです。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	しんさかした保育園
施設所在地	日野市新町3丁目 1 7 番4号
自治体名	日野市

1. 活動のテーマ

<テーマ>

テーマ②：自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

しんさかした保育園は、園庭があり自然もある環境に恵まれた中、子どもたちの心と体の成長を育んでいる。そのため、普段から散歩で得られる気づきや発見、好奇心を大切にしており、保育計画の中で定期的に出かけるようにしている。散歩先では、自然物に真っ先に目が行く子どもたちなので、その探究心をさらに深掘り出来るように大きなテーマで「自然」として散歩先での探究心をさらに深めていくこととした。

2. 活動スケジュール

令和7年12月から、3月に、不定期実施

- ・散歩では、近隣の公園やグラウンドなどで身体を動かしながら、あそびや発見につなげられるように年齢ごとに保育計画を設定し、実施した。
- ・園庭などの身近な自然に触れる機会を作る中で子どもが季節の移り変わりや事象の変化に関心を持てるよう取り組んだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・安全に小さいクラスから散歩に行けるように散歩ワゴンを整備し、散歩時に、発見や気づきをひきだせるよう実施した。
- ・冬から春にかけて定期的に散歩に出かけることで、季節の移り変わりや事象の変化を感じられるよう工夫した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年齢に沿ったねらいや活動の進め方を立てて実践した。

- 【0歳児】
 - ・ベビーカーや抱っこで園周辺を散歩する
 - ・風、日差し、葉の揺れなどを感じる
- 【1歳児】
 - ・近くの公園や遊歩道を歩く
 - ・虫や鳥を見て指差しや言葉で伝える
- 【2歳児】
 - ・虫探しや影遊び
 - ・「並んで歩く」「止まる」などを経験する
- 【3歳児】
 - ・季節ごとの自然探し
 - ・公園でルールを守って遊ぶ
- 【4歳児】
 - ・虫や草花の観察・図鑑調べ
 - ・落ち葉や木の枝を使った制作
 - ・季節の違いを話し合う
 - ・交通ルールを意識して散歩する
- 【5歳児】
 - ・自然物を分類・比較する
 - ・季節や天候の変化を記録する
 - ・地域の自然や施設に関心を持つ
 - ・友だちと目的を持って探索活動を行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

水路の脇道を通る時に、「先生落ちないように気を付けてね。守ってあげると」手を引く姿が見られた。保育士が以前してくれたことを覚えていた経験から、この場所は「気を付けて歩こう」などと、自分自身とともに、相手を気遣う声掛けが自然とできるようになってくるなど、活動からの成長を感じとる場面が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

二つ目は「自然」をテーマに取り組みました。自然豊かな環境の中で散歩に出かける機会が増え、大きいクラスから小さいクラスまで、それぞれの年齢に応じた関わりを持つことができました。自然の中でのさまざまな経験を通して、子どもたちは小さな発見を楽しむだけでなく、水路の脇道で先生を気遣い、声を掛けながら手を引く姿も見られました。これまで保育者から受けた関わりを覚え、その経験を生かして自分自身だけでなく相手を気遣う言葉や行動につながっている様子から、子どもたちの成長を強く感じるすることができました。これからも子どもたちが「楽しい」と感じられる保育を計画し、一人ひとりの成長につながるような経験を大切にしていきたいと思います。